

平成26年9月～平成27年8月の活動ピックアップ！

このコーナーでは、平成26年9月から平成27年8月までの活動のうち、主なものをピックアップしてご紹介します。

第30回総会及び記念講演会

【開催日】平成27年5月13日（水）

【開催地】松山市（松山全日空ホテル）

【参加者】総会120名（会員のみ）、記念講演会124名（非会員含む）

第30回総会では、運営委員会事務局から提案された平成26年度の事業報告、収支決算報告及び会計監査報告、平成27年度の事業計画案及び収支予算案、役員選出案及び顧問の委嘱案について審議され、いずれも満場一致で承認されました。

その後、平成26年度調査研究活動の成果報告が実施され、会員委託調査研究3件（(株)たからのやま、南国市、(株)ハートネットワーク）の発表がありました。

また、総会記念講演会として、元野村総合研究所の理事長で産業戦略研究所 代表 村上 輝康氏の「スマート化社会のサービスイノベーション：IT産業からST産業へ」と題する講演が行われました。

これまでのIT（インフォメーションテクノロジー）産業は、もっとST（サービステクノロジー）産業に向けて進化していくべきではないかという提案について、事例を交えて講演していただきました。



第30回総会における会長あいさつ



調査研究活動の成果報告



村上講師による記念講演会

情報通信セミナー

1. ICT利活用による防災・減災シンポジウム

【開催日】平成26年9月2日（火）

【開催地】松山市（愛媛大学 城北キャンパス 南加記念ホール）

【参加者】194名

本シンポジウムでは、最初に総務省 総括審議官 武井 俊幸氏による「防災・減災対策とICT」と題した特別講演が行われました。この講演では、ICTを有効活用するには、地域の関係者の連携が大切である旨の提案がありました。

次に、愛媛大学 防災情報研究センター 准教授 二神 透氏が、同センターで開発した「地震火災・津波避難シミュレータ」に関する講演を行い、当該シミュレータについて紹介しました。

その後、宇和島市 総務部 危機管理課 課長 山下 真嗣氏が「コミュニティFM放送を活用し



シンポジウムの様子



小型車載地球局の展示

た防災対策」について、四国総合通信局 無線通信部長 大野 真氏が「四国における情報通信伝達手段の整備」について、NICT 執行役 細川 瑞彦氏が「NICTにおけるソーシャルICT研究の推進と防災減災」について講演しました。

一方、本シンポジウムの開催中、会場前においてNICTによる超高速インターネット衛星きずな（WINDS）用小型車載地球局が展示されました。会場を訪れた参加者の多くが、興味深く見学していました。

2. ICT利活用による徳島の活性化を考えるPART 2

【開催日】平成26年11月27日（木）

【開催地】徳島市（徳島大学 常三島キャンパス けやきホール）

【参加者】148名

本セミナーでは、前半に「事例発表」として、徳島県内でICTを活用した地域活性化に取り組んでいる2社から発表がありました。まず、(株)あわえ 代表取締役社長であり、サイファー・テック(株) 代表取締役 吉田 基晴氏が「『地方が都会を活性化する！』美波町で起こったこと」について、(株)たからのやまの代表取締役社長 奥田 浩美氏が「(株)たからのやまが見つめる未来」について講演し、徳島県美波町における取組実績について紹介しました。

後半は、徳島大学情報センター 特任教授 松村 健氏のコーディネートにより、「美波町の地域活性化取組事例に学ぶ～徳島におけるICT地域創生のベストプラクティスは？～」をテーマにパネルディスカッションを実施しました。パネリストからは、「都会と田舎を対立の構図で捉えては、何も解決しない。」等さまざまな提案がありました。

当日の会場には、徳島大学生や四国大学生らの若い世代も多数参加しており、パネリストと会場参加者の間で活発な意見が交わされました。



事例発表の様子



パネルディスカッションの様子

3. 「ビッグデータ×農業」～ICT利活用で農業が変わる～

【開催日】平成27年4月14日（火）

【開催地】松山市（愛媛大学 城北キャンパス 南加記念ホール）

【参加者】146名

本シンポジウムでは、最初に総務省情報流通行政局 情報流通振興課 課長補佐 梶原 亮氏により平成25年度

【3】四情懇の活動

補正予算の実証事業に関する「ビッグデータがもたらす農業の高付加価値化・生産性向上」と題した講演が行われました。

その後、愛媛大学 植物工場研究センター 副センター長で農学部 教授 羽藤 堅治氏が「スピーキング・プラント・アプローチ (SPA) と農業 ICT に関する取り組み」と題し、また愛媛大学 植物工場研究センター 農学部 准教授 高山 弘太郎氏が「植物生体情報計測ロボットによる太陽光植物工場の知能化」と題してそれぞれ講演し、愛媛大学農学部 of 取組について紹介しました。

最後に、農業にビッグデータを活用している西日本の事例として、宮崎県都城市の農業生産法人 (有)新福青果 代表取締役 新福 秀秋氏が「ICTを活用した農業経営」と題して講演しました。



4. 地域情報化広域セミナー 2015 in 愛媛

【開催日】平成27年7月8日 (水)

【開催地】松山市 (愛媛大学 城北キャンパス メディアホール)

【参加者】78名

本セミナーは、「オープンデータの意義及び先進事例の紹介」をテーマに開催しました。

最初に基調講演として、筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授 川島 宏一氏が「オープンデータの意義と地域活性化」と題して講演。アイデアソン・ハッカソンから地域ビジネス創出へつなぐ方法等について紹介しました。

次に、オープンデータに関する2つの活用事例について紹介。徳島県 政策創造部 統計戦略課 主任 吉川 満氏が「徳島県におけるオープンデータ推進の取組について」、また、東京地下鉄(株) 常務取締役 村尾 公一氏が「東京メトロのオープンデータ活用の取組」について、それぞれ講演しました。

本セミナーには、オープンデータに興味のある自治体担当者をはじめ、大学関係者やアプリ開発企業等が参加しました。



地域情報化研修会

1. モノのインターネット (IoT) を学習する研修会

【開催日】平成26年9月11日 (木) (高松会場)、9月12日 (金) (高知会場)、9月25日 (木) (徳島会場)、9月26日 (金) (松山会場)

【開催地】高松市、高知市、徳島市、松山市

【参加者】109名 (4会場の合計)

本研修会は、シスコシステムズ合同会社 IoT インキュベーションラボから今井 俊宏氏 (高松会場・高知会場) と人見 高史氏 (徳島会場・松山会場) を講師に迎え、家電や自動車など多種多様な「モノ」がインター

ネットに繋がり、お互いに情報をやりとりすることで新しい価値を生み出す I o T (Internet of Things) について学習することを目的に、四国4県で開催しました。

研修会では、I o Tを取巻く最新の動向や、直面する課題、実現していく上で重要な要素技術等を、シスコシステムズとの取り組みや事例を交えながら紹介されました。また、I o Tが更に進化し、人、データ、プロセス、そして、あらゆるものが繋がる事で様々なイノベーションを創出する世界「I o E (Internet of Everything)」の登場が、ビジネスに与える影響等について解説されました。

参加者は、今話題の I o Tについて理解を深めることができました。



2. ビッグデータ活用ワークショップ

【開催日】 平成26年10月10日 (金) (第1回)、12月5日 (金) (第2回)、平成27年2月10日 (火) (第3回)

【開催地】 高松市 (e-とびあ・かがわ BBスクエア)

【参加者】 53名 (3回の合計)

本研修会は、かがわ情報化推進協議会との共催で、富士通(株) 統合商品戦略本部 ビッグデータイニシアティブセンターから安部 純一氏と葛谷 雄一氏を講師に迎え、「香川県の観光活性化」をテーマに3回シリーズで実施しました。

第1回は、ビッグデータと自治体の活用事例について学習した後、香川県の観光活性化についてアイデアソンを実施しました。

第2回は、SNSの特徴等について学習した後、SNS上のビッグデータを分析するツールの使い方をグループ演習で体験しました。

第3回は、アイデアソンで出した仮説を実際に分析ツールを駆使してSNS分析を行うことにより、仮説の検証を試みました。

参加者は本研修会を通じて、SNS上のデータの分析を模擬体験することで、ビッグデータの活用について理解を深めることができました。



3. 新居浜市オープンデータ アイデアソン・ハッカソン

【開催日】 平成26年12月19日 (金) ~ 20日 (土)

【開催地】 新居浜市 (新居浜テレコムプラザ)

【参加者】 77名 (2日間の合計)

本研修会は、(株)ハートネットワークにより実施された平成26年度の会員委託調査研究「新居浜市におけるオープンデータの実現と活用に関する調査研究」の取組の一環として実施されたものです。

1日目は、オープンデータに関するプレゼンテーションを実施しました。

名古屋大学 未来社会創造機構 教授 河口 信夫氏が「オープンデータとは～I O D D (インターナショナル・

【3】四情懇の活動

オープンデータ・デイ) から始まった東海地域の取組のご紹介～」と題し、オープンデータ概論からオープンデータ東海の具体的な活動まで、わかりやすく解説・紹介しました。その後、内閣官房情報セキュリティセンター 重要インフラグループ 参事官 本間 祐次氏の「わが国の重要インフラにおける情報セキュリティ対策」と題した講演もありました。



プレゼンテーションの様子



アイデアソンの様子

2日目は、「新居浜市のオープンデータが実現したら、どのような地域アプリを開発して新居浜市の地域課題を解決するか」をテーマにアイデアソンを実施しました。

最初に、(一社) Clear Water Project代表理事 瀬川 貴之氏によりアイデアソンの実施方法について理解を深めた後、参加者は「防災」、「観光」、「まちづくり」等興味のあるテーマごとにグループに分かれ、瀬川氏の指導の下、それぞれアイデアソンを実施しました。このアイデアソンには、四国情報通信懇談会の会員だけでなく、地元の新居浜高等専門学校や河原ITビジネス専門学校の生徒、(株)ハートネットワークでインターン中の大学生も参加し、大変賑やかなイベントとなりました。

参加者からは「日頃考えることのない地域課題の解決について真剣に考える機会となり、大変勉強になりました。」「若い世代を育成する良い取組だと感じました。また、社会人にとっても異業種交流会のようで良い刺激がありました。」等の感想をいただきました。

4. 管内視察研修会「愛媛大学ICTオープンキャンパス」

【開催日】平成27年1月28日(水)

【開催地】松山市(愛媛大学 樽味キャンパス・城北キャンパス)

【視察先】植物工場研究センター(樽味)、総合情報メディアセンター(城北)

【参加者】15名

まず、愛媛大学・樽味キャンパスの植物工場研究センターを訪問。植物工場研究センターは、太陽光利用型植物工場と研究・研修棟を有し、スピーキング・プラント・アプローチ(SPA)技術と知識ベースに基づいた「知的植物工場システム」構築のための各種先端技術の研究開発を実施しています。参加者は、農学部 植物工場情報システム学研究室 教授 羽藤 堅治氏により、植物工場研究センターの概要及び研究プロジェクトについて説明を受けました。その後、太陽光利用型植物工場を見学しました。



なお、植物工場研究センターの研究プロジェクトについては、平成27年4月14日(火)に開催しました情報通信セミナー「ビッグデータ×農業」においても紹介されました。

次に、城北キャンパスに移動し、総合情報メディアセンターを訪問。総合情報メディアセンターは、情報教育・学術研究支援・ネットワーク管理・地域貢献といった広い意味での情報基盤を統括しています。平成26年9月に情報基盤システムを更新しており、災害や不正アクセスに強い技術を導入し、従来の20倍の通信速度も実現しています。参加者は、愛媛大学 総合情報メディアセンター 教授 川原 稔氏により、総合情報メディアセンターの概要及び情報基盤システムの説明を受けました。

ICT研究交流フォーラム

1. 第12回技術セミナー

【開催日】平成26年9月26日（金）
【開催地】高知市（高知新聞放送会館 高新文化ホール）
【参加者】78名

本技術セミナーは、「ICTを活用した防災技術」をテーマに開催しました。

セミナーでは、国土地理院 測地観測センター 地震調査官 宮川 康平氏が「ビッグデータの活用による海溝型巨大地震の即時把握～リアルタイム地殻変動データの解析技術による大津波予測への貢献～」について、高知県 危機管理部 副部長 橋口 欣二氏が、「情報通信技術と自治体の災害対策」について、香川大学 工学部教授 危機管理研究センター センター長 白木 渡氏が「3次元バーチャルリアリティ技術を用いた災害状況再現・対応能力訓練システムの開発」（平成25年度管内視察研修会で視察したシステムです）について、高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター ITセンター 情報システム室 北村 和之氏が「南海トラフ大地震から診療情報を守れ～JGN-X基盤を活用した電子カルテのバックアップ技術～」について、（一社）九州テレコム振興センター（KIAI）主任研究員 中山 謙氏が「防災業務へG空間/GIS技術をうまく適用するための取組～ICT利活用推進の面からの取組～」についてそれぞれ講演があり、最後にNICITが「JGN-X仮想化技術と耐災害情報通信技術への取組み」について紹介しました。

参加者は最新の防災技術についての理解を深めることができました。



2. ビッグデータ・オープンデータに関する技術勉強会

【開催日】平成26年11月14日（金）
【開催地】徳島市（徳島大学 常三島キャンパス 工業会館）
【参加者】41名

本技術勉強会は、新たな価値創造や社会的課題の解決のための有効なツールとして注目を集めているビッグデータとオープンデータの利活用について、最新の研究開発事例や具体的な利活用方法を考える目的で開催しました。

勉強会では、京都フラワーツーリズム プロデューサー 高木 治夫氏が「オープンデータ×位置情報＝地方創生！」について、アイパブリッシング(株) 代表取締役 福島 健一郎氏が「オープンデータ利活用のための地域コミュニティ運営とアプリ開発」について、CODE for IKOMA 代表 佐藤 拓也氏が「コミュニティによるボトムアップから考えるオープンデータ」について、(株)アイ・ディ・エス 取締役 東 宏一氏が「徳島県総合地図提供システムで利用されているJoruri Mapsの開発経緯とオープンデータ利用のご紹介」について、それぞれ発表しました。

参加者は、ビッグデータとオープンデータの利活用について理解を深めました。



3. 第13回技術セミナー

【開催日】平成27年1月27日（火）
【開催地】松山市（愛媛大学 城北キャンパス 南加記念ホール）
【参加者】100名

本技術セミナーは、「オープンデータに関する技術」をテーマに、オープンデータの利活用を推進するための取組や、そこで使われている技術について理解を深めるとともに、平成26年度の会員委託調査研究の成果について中間報告を実施する目的で開催しました。

セミナーでは、東京大学大学院 情報学環 教授 越塚 登氏が「オープンデータとオープンイノベーション：技術、プラットフォーム、サービスモデル」について、(株) j i g . j p 代表取締役社長 福野 泰介氏が「21世紀を代表するインフラ『オープンデータ』の楽しみ方」について、それぞれ講演しました。

その後、「地域におけるオープンデータの取組と調査研究事例の紹介」をテーマとしたトークセッションも実施され、この中で平成26年度の会員委託調査研究に関する中間報告がされるとともに、これから四国においてオープンデータを実現していく上での課題等について意見交換が行われました。



4. 第14回技術セミナー

【開催日】平成27年6月26日（金）
【開催地】高知市（高知県立大学 永国寺キャンパス）
【参加者】76名

本技術セミナーは、四国で実施された地域課題の解決を目指したICT研究開発の成果発表を行い、四国におけるICT研究開発への参加・協力・連携等の新たな展開を推進することを目的に開催しました。

セミナーでは、「四国で実施されたSCOPEによる研究開発の成果発表」として、愛媛大学 医学部附属病院 医療情報部 准教授 木村 映善氏が「医療サービスの継続性を担保する電子カルテ秘密分散バックアップ技術の研究開発」について、愛媛大学大学院 理工学部 准教授 都築 伸二氏が「スマート環境センシング基盤の構築と地域デザインへの応用に関する研究開発の概要」について、高知工科大学 情報工学群 教授 菊池 豊氏が「災害時に事業継続性を発揮する情報通信インフラのための運用計画改善手法および冗長化技術の研究開発」について、それぞれ成果発表を行いました。

次に、「地域課題等の解決を目指したICT研究開発」として、奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 インターネット工学研究室 助教 樫原 茂氏が「ドローンを用いた罹災状況収集システムの利活用に向けて」について、高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター 医療情報センター 情報システム室 北村 和之氏が「高知県における地域連携ネットワーク構築の取組」について、NICT テストベッド研究開発推進センター テストベッド構築企画室 鷹取 耕治氏が「新世代通信網テストベッド（JGN-X）の活用事例」について発表しました。

参加者は最新のICT研究開発の成果について理解を深めることができました。



コンテンツ部会

1. 映像制作研修会 in 四万十

【開催日】平成26年9月21日（日）
【開催地】四万十市（市立中央公民館）
【参加者】12名

本研修会は、地域コンテンツを有効かつ効果的に情報発信できる人材の育成を目指して開催しました。

本研修会では、幡多IT実践会の埜下 翔氏を講師に迎え、動画撮影の基礎知識や編集方法の説明と撮影実習に取り組みました。

参加者からは、音楽を使用する際の著作権処理に係る質問等が出され、参加者は映像制作について理解を深めることができました。



2. 四国コンテンツシンポジウム in 高松

【開催日】平成26年12月11日（木）
【開催地】高松市（e-とぴあ・かがわ BBスクエア）
【参加者】85名

本シンポジウムは、四国への観光客誘致、移住等をさらに促進し、四国を元気づけるため、四国4県における取組を紹介するとともに、今後の国内外に向けたコンテンツの発信による地域活性化について考える目的で開催しました。

シンポジウムでは、まず基調講演として、香川大学大学院 地域マネジメント研究科 副研究科長 教授 原 真志氏が「コンテンツ生産・消費・政策のグローバルダイナミクスと地域活性化」について講演しました。

続いて、「地域の取組及びトークセッション」コーナーにて、徳島県の(株)あわえ 代表取締役 吉田 基晴氏が「『地域の魅力を伝える！』地域コンテンツクリエイター育成」について、高知県の(株)海洋堂 館長 宮脇 修氏が「いまやらねばいつできる わしがやらねばたれがやる」について、香川県の(一社)まちテレ 専務理事 中野 裕介氏が「テクノロジーを活用した新しいネットメディアへの取組」について、愛媛県の(株)愛媛CATV 常務取締役 白石 成人氏が「演劇コンテンツを海外へ～愛媛県コンテンツ海外輸出モデル事業～」について、それぞれ紹介しました。トークセッションでは「地域コンテンツにこだわる理由」や「地域コンテンツに関する人材育成について解決すべき課題」等について、意見交換が行われました。



3. 四国コンテンツ映像フェスタ2014表彰式とコンテンツセミナー in 徳島

【開催日】平成27年2月26日（木）
【開催地】徳島市（あわぎんホール）
【参加者】60名

最初に、四国コンテンツ映像フェスタ2014の表彰式が開催され、審査委員長である白石 成人氏（(株)愛媛CATV常務取締役）からの表彰状と協賛団体からの副賞が、各賞の受賞者に贈呈されました。

その後実施されたコンテンツセミナーでは、香川大学 大学連携e-Learning教育支援センター四国 教授 村井 礼氏から「コンテンツ制作と著作権～近年の著作権法改正から～」について、映画監督であり（一社）ニコニコフィルム 蔦 哲一朗氏から「映画と地域の結びつき」について講演がありました。



4. 四国コンテンツシンポジウム in 松山

【開催日】平成27年7月1日（水）
【開催地】松山市（ホテルメルパルク松山）
【参加者】127名

本シンポジウムは、コンテンツを活用した地域のまちづくりを促進するため、平成27年4月に公表された「四国の地域コンテンツ制作・発信の取組事例集」の中から、四国をより元気にする取組を紹介するとともに、今後の国内外に向けたコンテンツの発信による地域活性化について考えるために開催しました。

シンポジウムでは、「四国の取組事例」として、徳島県 政策創造部 地方創生局 地方創生推進課 係長 加藤 貴弘氏が「動画による情報発信について～徳島は宣言する『vs東京』～」について、香川県の情報通信交流館 e-とびあ・かがわ 館長 大西 佳章氏が「みんなが主役の地域コンテンツ創造拠点をめざして」について、愛媛県の愛南リポーターズ 代表 兵頭 朝美氏が「住民が地元の魅力を発信～住民ディレクターの実践～」について、高知県の(株)高知放送 編成業務局長 竹下 誠一氏が「海外放送コンテンツ『Wonder Box！四国』の製作とその効果」について、それぞれ発表しました。

その後、特別講演として、北海道テレビ放送(株) 代表取締役社長 樋泉 実氏が「アジアのコンパスで地域を考える～北海道アワーの挑戦～」と題して講演しました。

